

くつろぎたいわ

松江赤十字病院広報誌 第51号 (2015年冬号)

■病院理念……

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

♪まい&れいれい♪

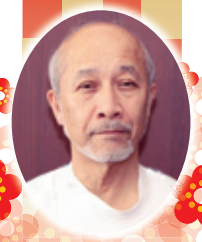
TSUNAMI ヴァイオリンコンサート

【主催】がん患者と家族の会 くつろぎサロン 【共催】松江赤十字病院 がん相談支援センター




新年のごあいさつ

松江赤十字病院 院長 泰 公平



明けましておめでとうございます。年末の突然の衆議院選挙で、忙しい年の瀬が更に慌ただしく感じられました。皆様いかがでしたでしょうか。新たに選ばれた代議士の先生方には、これからの国の舵取りを、地方を見捨てることなく、しっかり行っていただきたいものです。

昨年の診療報酬改定で平均在院日数の短縮を迫られ、夏場は空床が目立ちましたが、寒くなって肺炎患者さんの入院が増えるとともに病床利用率が上がり、職員は忙しく働いています。医師不足は相変わらず改善されておらず、科によってはむしろ悪化の傾向にあります。いつになったら解消されるのでしょうか。

医療体制については今後の少子高齢化の進行を見据えて変化せざるを得ない状況です。ある資料(※)によると松江医療圏の一般病床数は団塊の世代が後期高齢者に仲間入りする2025年には、現在の病床数は約300床以上余る(療養病床は除く)という数字が出されています。平均在院日数を更に短縮するよう迫られるならば、もっと空床が増えることとなります。

そこで厚生労働省は地域の状況に応じた医療構想(ビジョン)を作るよう、各県に指示しており、これから本格的な議論が始まることとなります。当医療圏の適切な病床数や医療機能を検討し、再編や統合等も含めて考えていくこととなりますが、それぞれ設立母体が異なるので困難が予想されます。最終的に知事が判断し指示することになっていきますが、簡単にはいかないことでありましょう。

病院の消費税増税問題にしても、10%への増税の時に組上り上るはずでしたが、延期となりましたのでこのまま続くことが予想され、それもまた病院経営上大きな問題です。

いずれにしても今後医療体制がどう変わっていくのか、住民の皆さん方も注目していただくようお願い申し上げます。(平成27年元旦)

※ケアレビュー社「病院情報局」2014年11月

エボラ出血熱患者発生 対応訓練を実施して

感染対策推進室長 漆谷 義徳

エボラ出血熱 (Ebola hemorrhagic fever; EHF) はフィロウイルス科エボラウイルス属のウイルスを病原体とする急性ウイルス感染症で、2014年6月頃より西アフリカを中心に感染が急拡大し現在も流行は続いており、感染患者数は15,000人を超え、致死率が高く (35~40%) 深刻な事態になっています。エボラ出血熱は感染症法において一類感染症に指定され、特定感染症指定医療機関または第一種感染症指定医療機関でのみ受け入れ可能となっており、本院は島根県唯一の第1種感染症指定医療機関であります。



① 感染症病床へ搬送

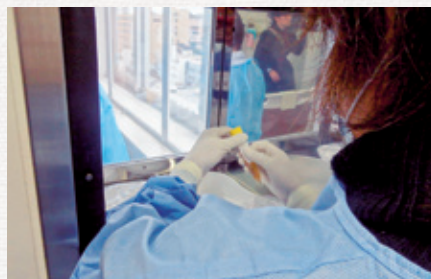
10月24日厚生労働省から各都道府県宛てにエボラ出血熱の国内発生を想定した行政機関における基本的な対応について体制の整備等を促す通知が出され、島根県においても患者あるいは疑似症患者が発生した場合に迅速な対応が行えるよう、11月26日に関係機関との訓練が実施されました。島根県薬事衛生課、松江保健所、雲南保健所、出雲保健所、保健環境科学研究所、日本交通株式会社が参加され、シナリオの場面1は検疫所から島根県薬事衛生課に雲南保健所管内にエボラ出血熱を疑われる患者が発生したという連絡が入ったという想定、場面2は出雲保健所に医療機関からエボラ出血熱疑似症患者の届出があったという想定で①情報連絡および連携の確認、②患者搬送訓練、③検体採取訓練が行われました。場面2の中で9時45分薬事衛生課から本院に第1報があり、11時に疑似症患者がアイソレーターに入れられて本院へ到着、地下から専用エレベーターを使用して第1種感染症病床へ搬送・収容し、検体採取および県職員への検体受け渡しを行いました。感染防止のためにはフルPPEは必須で初めての装着ではありませんでしたが、装着時間が長くなった場合の問題点や一連の手順を確認していく中で気が付いていなかった課題も見つけられました。また後日の検証会においても参加された各機関からいろいろな課題、反省点が出されて改善点が建設的に話し合われ、オール島根で取り組んでいくことが確認されました。大変有意義な訓練ができたと思っています。

今後も関係機関と連携を取り、最新の情報、知識を収集しながらしっかりと準備していきたいと考えています。

今後も関係機関と連携を取り、最新の情報、知識を収集しながらしっかりと準備していきたいと考えています。



② 漆谷医師による検体採取



③ 専用受渡し口より検体受取り



④ 県職員による検体搬出

くつろぎサロン ヴァイオリン演奏会開催

こんにちは、緩和ケア部会事務局です。

12月4日に、当院のくつろぎ

サロン主催でヴァイオリン演奏会が開催されました。

くつろぎサロンは、癒しと情報交換を目的とした、がん患者さんとご家族のための会で、毎週水曜日の定例会のほかに、季節ごとにさまざまなイベントを企画されています。



今回の演奏会は、東日本大震災で被災にあった木材を使って作られたヴァイオリンでのコンサートで、「様々な病や災害の中にあっても、ひと時の癒しとくつろぎの時間を提供したい」という思いから実現しました。

演奏してくださったのは、親子で活動しておられる『まい＆れい』さん。実は2年前にも来ていただいていて、今回は2度目の演奏会でした。

今年を代表するディズニーアニメの曲からクラシックまで、幅広い曲目を披露してくださいました。アンコールでは、復興支援のために作られた「花は咲く」も！会場となったホスピタルモールは吹き抜けになってるので、2階から聞いてくださった方も、病棟から参加してくださった患者さんもおられて、たくさんの方々にとって「くつろぎ」の時間となったのではないのでしょうか。もちろん私もこの時間を満喫させていただきました。あつという間の30分間で、もっともっと聞いていたかったです。

ホスピタルモールは大きな窓があり、開放感バツグンの場所なので、今度は桜をバックに聞いてみたいな〜とひそかに期待しています！



小児センタークリスマスイベント

12月24日に小児センターでクリスマス

イベントを行いました。

午前中には、画用紙に折り紙や切り絵のサンタやトナカイなどを貼って作った、クリスマス飾りを、一人一人のベットサイドに貼りに行きました。

画用紙の色や、柄がいろいろあって「どれがいいかなー♥」と親子で迷いながら選んでいただきました。

午後3時になるとトリングルベルと共に3人のサンタが登場。プレゼント渡し後のサンタが、ソリならぬ、きらきら装飾ワゴンにプレゼントを乗せてやってきて、カーテンから顔をのぞかせると子どもたちはビックリまなこ。それでもプレゼントを見つけると泣かずに喜んで受け取ってくれました。よかった。

2人のかわいい栄養課レディスサンタは、それはそれはおいしそうなケーキを運んでくれました。

クッキーとチョコのトナカイケーキとクリームたつぷりのイチゴサンタケーキの2種。これまた「どれがいいかなー♥」と選んだのしみがあり、子供たちもわくわく。

プレゼントやおやつをもらったある男の子が「病院に入院しても、いいことあるんだねー！」と一言。私たちにとってうれしい言葉をもらいました。

熱があったり、手術したばかりだったりで、十分に楽しめなかった子供さんたちもありましたが、少し良くなったらプレゼントで遊んだりし、入院生活のちよつとした気分転換にしてもちえたら...と思っています。



11~1月
introduce

採用医師紹介

Hello Doctors

麻酔科 青山 由紀

手術を受ける患者さんの痛みや不安が少なく、手術後もスムーズな回復につながる麻酔管理に努めます。よろしくお祈りします。



スープ焼きお握り

栄養課 石川 千鶴

いよいよ冬本番、この季節は温かい物が食べたくなりませんか。

今回は体がぽかぽか温まるスープ焼きお握りを紹介します。まずはスープで温もって、その後焼きお握りを崩してスープご飯をお楽しみください。ご飯から出てくる肉味噌は嬉しいサプライズ感ありです。スープと肉味噌の相性も抜群なんですよ。

スープにはたっぷり「生姜」、「白ねぎ」を使用します。「生姜」の辛味成分ジンゲロン、ジンゲオールは体を芯から温める作用があり、冷え症改善や血行促進効果が期待されます。



「白ねぎ」にはアリシンという疲労回復作用、生姜と同様に血行促進効果のある成分が含まれます。またネギオールという殺菌作用も含まれ、風邪予防、改善も期待されます。肉味噌にも白ねぎを多く使用しました。

寒い冬を元気に乗り越えることができる食材を使いこなせると良いですね。是非お試しください。



材料

肉味噌 (作りやすい分量)

合挽き肉……………200g
白ねぎ……………70g

生姜スープ (2人分)

水……………500ml
鶏がらスープ(顆粒) ……5g
生姜……………20g
白ねぎ……………20g
椎茸……………2個
人参……………10g
三つ葉……………少々
にんにく……………2g
ごま油……………10g

★塩……………2g
★醤油……………4g
★味噌……………15g
★醤油……………12g
★みりん……………12g

焼きお握り (2個分)

ご飯……………220g 肉味噌……………40g
醤油……………2g ごま油……………2g

作り方

●肉味噌を作ります。

- ①白ねぎ、にんにくをみじん切りにします。
- ②フライパンにごま油を敷き、にんにくを入れ、香りが出てきたら合挽き肉を入れます。
- ③火が通ってきたら白ねぎをいれ、調味料★を入れ、ある程度水分が飛ぶまで煮詰めます。

●スープを作ります。

- ①生姜を千切り、白ねぎを斜めの輪切り、椎茸を薄切り、人参を花形に抜きます。
- ②鍋に水、鶏がらスープを入れ加熱します。
- ③①を入れ火が通ったら調味料☆で味付けをします。

●お握りに焼きお握りを入れ、スープをかけ、三つ葉を散らして完成です。

●焼きお握りを作ります。

- ①ご飯で肉味噌を包み、醤油、ごま油を表面に塗ってフライパンで焦げ目が付くまで焼きます。



年末年始のパーティーメニュー 〜外来糖尿病教室より〜 できました!

「あれも食べたい!」「これも食べたい!」と、ついつい食べ過ぎてしまうことはありませんか?

外来糖尿病教室は、講義を聴くだけでなく、自分でセレクトする食事をセットにした形で年5回開催されています。さらに、年末には調理実習を行い、お正月料理の楽しみ方を紹介しています。

糖尿病の食事療法は、糖尿病患者さんはもちろんですが、健康維持のためにもオススメの食事です。とはいえ、どうしても「制限」というイメージがありますよね。毎回の食事会では、「こんなに食べて良いの?」「こう工夫すれば、満足出来るね。」と言ってもらえるような献立を紹介しています。日々の食事は普段着のように気軽な感じで良いですが、お正月となると少し気分が変わります。年末から忘年会やクリスマス会、お正月の集まりや新年会など、華やかな料理を囲んだイベントの機会が多くなりますね。今回は、お正月料理だけでなく、パーティーメニューも盛り込んで、少し欲張りな調理実習になりました。写真は1人分の料理です。

雑煮はお餅2個ずつ(「三三三」の2個)にしいたけと三つ葉を飾っています。おせち料理の定番として、黒豆をやわらかく煮るぶどう豆は、砂糖の使用量が多いため、人口甘味料を利用し、糖尿病のある方も安心して食べられるようにしています。それでも7〜8粒程度とし、竹の器に入れるなど、少量でも寂しくならないようにしてあります。器の工夫はもう1つあり、柚子をくり抜いて器にします。鮮やかな色は黄金をイメージすることが出来ますね。今回はこの器でかぶら蒸しをしました。蒸すことでより鮮やかな色に仕上がりました。今回は、おせち料理に拘らずパーティーメニューの紹介も兼ねたため、パケットのカナッペやトレビスと大根のチキンサラダを組み込みました。洋食は油脂の使用量が多くなるため、どうしても高エネルギーになりがちです。カナッペはクリームチーズと前夜から水を切っておいた「水きりヨーグルト」を混ぜ合わせました。乳清の方はデザートに利用し、無駄はありません。チキンサラダは鶏ササミを使用し、ドレッシングも白ワインヒネガーを使用した手作りドレッシングです。あれこれ低エネルギーにする工夫をした結果、デザートを含めても1人分588kcalで出上がりしました。



参加された皆さんのチームワークで、美しく仕上がりました。スタッフも一緒に楽しい時間を過ごすことができ、大満足の実習でした。調理実習室は高層館13階にあり、宍道湖を眺めることもできます。1回に10名ずつ2回にわたっての開催でした。今年末もまた開催したいと思っております。興味のある方はご参加ください。

+ 松江赤十字病院『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や義務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する義務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る義務があります。